



アンドンパネルは全てオリジナル



細部に渡る「こだわり」



「義理人情」



フロントアンドン



(株)加藤急便の石倉さんが日本列島を駆け抜け、九州を目指す

ひとときを輝く。パートナー
「おらほのりんご」と行く編」



泥除けのステンレス部にも誼い文句が



リアショット



ナイトシーンでも存在感抜群に輝く



早生ふじ3kg

10月下旬、フルーツステーションを出発したのは(株)加藤急便のトラック。行先は、全国でも屈指の流通量を誇る「福岡大同青果(福岡県)と「イオン九州(佐賀県)」だ。大阪府の南港からフェリーで海を渡り、九州へ。ドライバーの石倉さんは、映画「トラック野郎」に憧れ、21歳から運送業に就き、現在に至る。今のシーズンはリンゴ真つ只中で、自分自身もリンゴが好きで「トキ」は甘くて香りも良好とイチオシした。

当JAで出荷されるリンゴは早生種から中生種へと移り変わり、早生ふじ・トキ・千秋・森田シヨナが出荷された。その中でも、近年注目を集めているのが、3kgオーブン箱の「理由あり林檎」だ。これは、見た目よりも中味をアピールしたもので、見た目が劣るリンゴであっても一生懸命に育てたリンゴに変わりはなく、旨さに自信があるというヒット商品だ。低価格でありながらも美味しいリンゴとして商品価値が高まっているほか、季節感があり購入しやすい価格で自家消費のニーズに

魅力
Part 2

農業振興課
広報担当
齊藤 大貴

JA相馬村広報

林檎の森 りんごのもり

2017.12 Vol.425

■ 発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497

■ 編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp

■ 発行日
2017年12月15日

JA 相馬村概況

〈平成 29 年 11 月末日現在〉

組合員数	878 人
(うち准組合員数)	357 人
出資金	638,860 千円
貯金額	9,620,423 千円
共済保有高	3,529,795 万円